

湖東・湖北

毎月第3日曜日発行

2022 12月号

Vol.157

毎日ナビ

毎日新聞湖北ブロック会 協賛

毎日新聞湖北ブロック会事務局 (毎日新聞長浜販売所)

滋賀県長浜市小堀町 347-5 TEL.0749-62-0954

制作/オフィスいしやま (毎日新聞大津販売)

湖北

市民が「先生」と「生徒」となり、学びを通して交流を深めるながはまコミュニティカレッジが11月12日、長浜市高月町の高月まちづくりセンターで開かれた。小学生が先生役になった「お金の歴史」にまつわる講座や、バードウオッチング、楽器演奏など計20の講座が開かれた。

撮影時の裏話を紹介した。コハクチョウが飛び立つ写真を撮るために真冬に4時間も外で粘ったことや、しづき氷の撮影で気温マイナス4度の日に胴長靴を履いて琵琶湖に入ったエピソードなどを披露。国際宇宙ステーションや巨大な流星を撮影した時の感動も伝えた。



ながはまコミュニティカレッジで広報の表紙写真について話す森岡賢哉さん

長浜

市職員、広報写真を熱く語る 「市民が先生」の講座で

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

ひこにゃん、しめ縄仕上げ 長さ6尺、天秤櫓に飾る



大しめ縄を完成させ、笑顔を見せる「ひこにゃん」が彦根市で進む彦根城で12月1日、彦根市の公式キャラクター「ひこにゃん」がしめ縄の仕上げ作業をした。

8本作り上げた。最大のものは長さ6尺、周囲45センチ、重さ50キあり、22日に国重要文化財の天秤櫓に飾りつける。城内では12月中、すす払いや「鏡餅つき&きな粉もちの振る舞い」など師走の恒例行事が続き、門松を飾って新年を迎える。彦根城運営管理センターの宮川敏明所長は「10月以降は全国旅行支援のおかげで観光客が戻ってきた。良い新年を迎えたい」と話した。

【村元展也】

春を告げる盆梅展 PRポスターがお目見え

長浜

長浜観光協会は、来春に慶雲館(長浜市港町)で開かれる「第72回長浜盆梅展」のPRポスターとリーフレットを作製し、JR西日本の各駅や全国の旅行者などに配布した。ポスター、リーフレット共に、金屏風を背景に水盤に写る逆さ盆梅をメインに据えたデザインとなっている。



第72回長浜盆梅展のポスター

【長浜通信部・長谷川隆広】

多彩な市民活動の拠点に スポーツ・文化センター開館

彦根



市民活動の拠点となるスポーツ・文化センターが彦根市で開館した。

彦根市小泉町の市スポーツ文化交流センター(愛称・プロシードアリーナHIKONE)が12月、オープンした。センターは延床面積約1万

3000平方メートル。メイン・サブのアリーナ、多目的ホール、トレーニング室、弓道場、まちなか交流ラウンジ、教養文化室(和室)、会議室など市民活動の拠点となる機能をもつ。市が初めてネーミングライツを導入し、産業用設備会社「PRO-SEED」(彦根市原町)が年間550万円で契約した。

【村元展也】